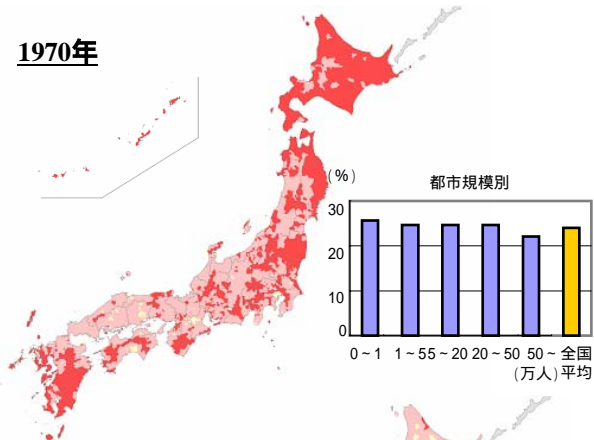


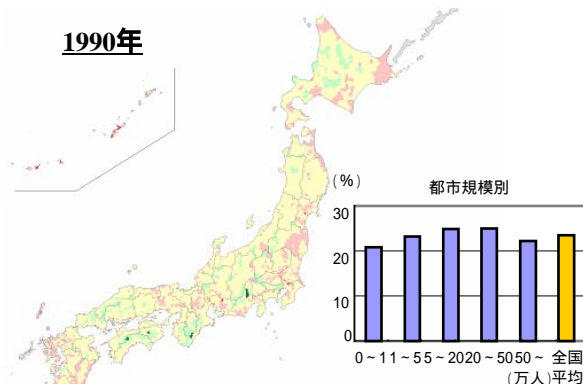
指標: 15歳未満人口の比率

日本全国で少子化が進行し、15才未満人口比率が減少している。各年代における地域間格差は、高齢化と比べると小さい。

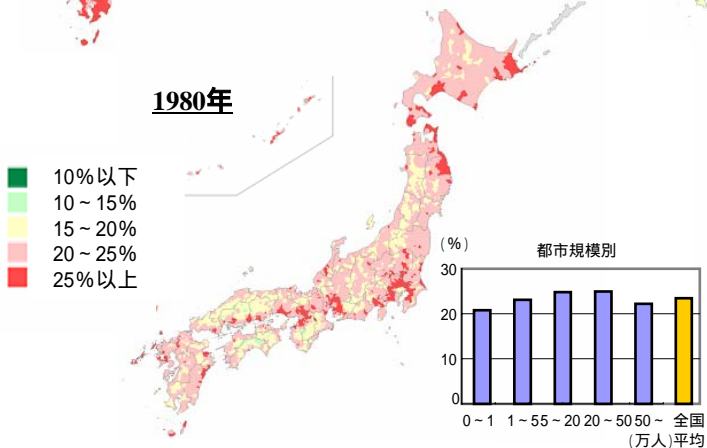
1970年



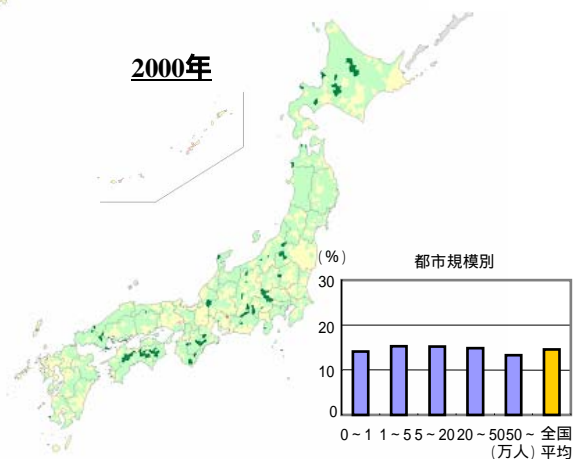
1990年



1980年



2000年



- 10%以下
- 10~15%
- 15~20%
- 20~25%
- 25%以上

(注) 2000年現在の人口により都市規模を分類した。

(出典) 国勢調査報告(総務省)をもとに国土交通省国土計画局作成。